
瓦礫の中

花浅葱羽羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

瓦礫の中

【コード】

N3580L

【作者名】

花浅葱羽羅

【あらすじ】

地震の後で、町が瓦礫に埋め尽くされたその場所で、「私」はただ、そこに居た。

(前書き)

大地震の後です。

世界には、五つの卵があるという。

そう言った曾祖母はもう居ない。

何処を探しても見つからない。

ただ、私の涙の跡だけが、

ただ、長く続いているだけだ。

世界には、五つの木があるという。

そう言った祖母はもう居ない。

何処を探しても見つからない。

ただ、私の足跡がだけが、

ただ、長く続いているだけだ。

世界には五つの希望があるという。

そう言った父はもう居ない。

何処を探しても見つからない。

ただ、私の口笛だけが、

ただ、長く続いているだけだ。

世界には五つの失望することがあるという。

そう言った母は私の腕の中に居る。

一つは曾祖母

一つは祖母が

一つは父が

居ないことだと母は言う

一つは自分が何も残すことの出来ぬまま

息を引き取ることだという。

残り二つは私のもので、

私と一緒に居られぬことと、

私を一人にすることの、

その二つだと母は言う。

そう言い母は冷たくなって、

ただ、私が黒く綺麗な長い髪を、

さらりさらりとなでるその音だけが、

ただ、長く続いているだけだ。

ただ、何も無いこの場所で、

ぐうぜん長く、続いただけだ。

(後書き)

「五つのは」「というのには特に考えてません(汗)
また、「一っは曾祖母」「が」「がないのは語呂合わせのためです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3580/>

瓦礫の中

2010年10月20日03時40分発行